

令和5年8月3日会議概要

第1 日時

令和5年8月3日（木）午前9時20分から午後0時40分までの間

第2 出席者

森田委員長、増田委員、在田委員、池坊委員、森委員
警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、
警備部長、京都市警察部長、情報通信部長、監察官室首席監察官
《書記 公安委員会補佐室長、公安委員会補佐室室長補佐》

第3 議事の概要

1 委員報告

(1) 初任科第265期卒業式（7月25日）

委員から、「卒業生の気持ちのこもった答辞に保護者が涙ぐむ場面もあり、感動的な卒業式であった。この感動を忘れずに立派な警察官になっていただけるよう期待している。」旨、報告があった。

(2) 第46回京都府警察逮捕術大会（7月26日）

委員から、「競技としてはルールがあり、色々な制約を課せられながら相手を制圧をしなければならぬ点は難しいが、現場では、全く無ルールな犯人に立ち向かうこととなる。その勇気に対し感服した。」旨、報告があった。

2 議題

(1) 令和5年上半期中の懲戒処分者等の状況について

首席監察官から、令和5年上半期の警察職員の懲戒処分状況について報告があった。非違事案の未然防止には、兆しの早期把握、踏み込んだ身上把握が必要であり、今後、あらゆる機会を通じて指導教養を進めていく旨、説明があった。

委員から、「引き続き未然防止に努めていただきたい。」旨、発言があった。

(2) 令和5年上半期における少年非行情勢について（暫定値）

生活安全部長から、令和5年上半期における少年非行情勢について報告があった。当府の場合、非行少年の検挙・補導のうち、刑法犯では触法少年の割合が全国平均より高く、特別法犯では大麻取締法による検挙が過去最多となっている。これらの情勢を踏まえ、下半期は街頭補導活動の強化やスクールサポーターへの研修による非行防止教室の充実、闇バイト対策としてターゲット広告の活用等諸対策の強化にあたる旨、説明があった。

委員から、「犯罪の低年齢化が進んでおり、低学年を対象とした非行防止教室の必要性を感じている。制服警察官による現場の実態を踏まえた非行防止教室を引き続きお願いする。」旨、発言があった。

(3) 令和5年上半期におけるサイバー犯罪情勢について（暫定値）

生活安全部長から、令和5年上半期におけるサイバー犯罪情勢について報告があった。上半期の相談件数は高止まり傾向であるが、内訳はフィッシング等、詐欺・悪質商法に関

するものが増加している。また、被害としては、インターネットバンキングに係る不正送金事案が増加しており、これらの情勢を踏まえ、下半期は、秋のサイバーフェスの開催等各種取組を実施していく旨、説明があった。

(4) ターゲティング広告を活用したリベンジポルノ被害防止啓発の実施について

生活安全部長から、京都産業大学女性安全対策チーム「アベリア」の協力を得て、リベンジポルノ・セクストーションなどの私事性的画像記録に係る被害を防止するための広告動画を作成した旨、報告があった。若年層にターゲットを絞り、夏休みの期間を中心に、YouTubeの動画広告やInstagramのスライド広告を流し、広報に活用していく旨、説明があった。

(5) 京都五山送り火に伴う雑踏警備の実施について

地域部長から、令和5年8月16日に催される京都五山送り火に伴う雑踏警備等について報告があった。エリアを管轄する5警察署が現地警備本部、警察本部に連絡調整室を設置して雑踏警備を実施するほか、大雨等の対策を府土木事務所と連携して実施していく旨、説明があった。

委員長から、「事故が起こらないようによろしく願います。」旨、発言があった。

(6) 右京区における強盗致傷被疑事件の検挙について

刑事部長から、捜査第一課と右京警察署は、令和5年4月27日、右京区内の路上で、帰宅中の女性に対し、自転車を押し倒す暴行を加え、現金等を強取し、傷害を負わせたとして、7月25日、当時24歳の男性等3人を強盗致傷被疑事件の被疑者として検挙した旨、報告があった。

(7) 「令和5年夏の交通事故防止府民運動」の実施結果について

交通部長から、7月21日から10日間実施された「令和5年夏の交通事故防止府民運動」の実施結果と、期間中2件の交通死亡事故が発生した旨、報告があった。

委員長から、「秋の活動もよろしく願います。」旨、発言があった。

(8) 令和5年上半期の京都府内の交通事故発生状況等について

交通部長から、令和5年上半期の京都府内の交通事故発生状況等について報告があった。発生件数、死亡事故件数のいずれも昨年より増加しているが、人対車両については減少傾向であり、引き続き取締りを中心とした人優先対策を進めていくこと、また、下半期は、薄暮時間帯における街頭活動を強化し安全運転管理者講習等の取組を通じて交通事故の総量を抑制していく旨、説明があった。

委員長から、「引き続き対策をお願いする。」旨、発言があった。

(9) 重傷ひき逃げ事件の発生・検挙について

交通部長から、令和5年7月30日に京都市左京区内の市道において発生した重傷ひき逃げ事件について、下鴨署が同日被疑者を検挙した旨、報告があった。

3 追加報告

大阪府警における高速隊員の殉職事案について

交通部長から、令和5年7月31日大阪府内の阪和自動車道において交通指導取締りに従事中の高速隊員が、トラックにはねられ死亡した殉職事案について報告があった。

委員長から、「残念で痛ましい事件である。安全の確保をして職務を遂行していただくようお願いする。」旨、発言があった。

4 個別決裁

(1) 警察署協議会委員の委嘱替えについて

広報応接課担当補佐から、管内事業者等から委嘱している委員について、人事異動等により解職の申出があった委員の解職、及び後任として上申された候補者の委嘱について説明があり、審議の上、決定した。

(2) 京都府公安委員会に対する審査請求等の裁決について（3件）

監察官室訟務担当補佐から、放置違反金の納付命令を受けた者（2件2名）から原処分を不服として審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の棄却を決定した。また、個人情報情報の削除を求めて審査請求がなされたことに伴い、審査請求の概要等について説明があり、審議の上、審査請求の却下を決定した。

(3) 沖縄県警察に対する京都府警察職員の特別派遣について

警備部次長から、警察法第60条第1項に基づく沖縄県公安委員会からの援助要求に対して、京都府警察職員を派遣する旨の説明があり、審議の上、特別派遣することを決定した。

あわせて、6月22日に審議の上決定した沖縄県警察への特別派遣については、8月2日を部隊の出発日と予定していたが、台風6号の影響により4日にずれ込む見込みと説明があった。

(4) 公安委員会苦情について（受理2件、処理1件）

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会宛の苦情等申出に関して、受理2件の報告があり、処理方針を決定した。また、過日受理した公安委員会宛の苦情等申出1件について調査結果及び通知案の説明があり、審議の上、通知内容を決定した。

5 聴聞等

運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、27件の行政処分を審議した。

6 個別報告

(1) 令和5年警察署協議会会長会議の開催について

広報応接課担当補佐から、令和5年11月2日、当府警察本部において「令和5年度京都府警察署協議会会長会議」を開催する旨、報告があった。

(2) 京都府情報公開・個人情報保護審議会への諮問について

情報公開室担当補佐から、自己が警察官に取り扱われた際の記録について開示請求を行った審査請求人の個人情報一部開示決定に対する審査請求等に関し、審査庁の権限に基づき京都府個人情報保護審議会に対して裁決を求める諮問を行うことについて報告があった。

(3) 犯罪被害者等給付金支給裁定の審査請求に対する裁決について

警務課犯罪被害者支援室長から、犯罪被害者等給付金の減額支給裁定を受けた申請者が原処分を不服として審査請求をしたことに伴い、審査庁が審査請求棄却の裁決を行った旨、報告があった。

(4) 優良運転免許証交付等請求控訴事件の勝訴について

監察官室訟務担当補佐から、京都府公安委員会を被控訴人とする優良運転免許証交付等請求事件につき、令和5年7月13日、大阪高等裁判所は、本件控訴を棄却する判決を言い渡した旨、報告があった。

(5) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室長から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。